

ひだまり



MOTHERTH

MOTHERTH NURSINGHOME FOR THE AGED

ある対談から

福 祉の仕事にはさまざまな出会いがあり、その出会いを大切にするか、しないかでは時の経過と共に、結果において大きな違いが生ずるでしょう。

出会いには目的、動機があつて、または偶然に合うこともあるが、出会ったことによって、その人から刺激され、学ばされて影響を受けることも事実です。

何年も前に逆上るが、女優の F さんと高齢者福祉のことで対談する機会がありました。

出会いから見ると、たった一度の出会いでしたが、印象は強烈なものがあつたので、その時のメモから対談の内容を思い出してみたいと思います。

F さんがご婦人達に講演するとき「早く未亡人になる方法」について話されていることを記事で読んだ記憶があつたので、そのことを質問してみました。

『「大往生」という本を書かれた永六輔さんにお会いした時に「どうしたら元気で長生きできるのですか」と質問してみました。そうしたらひと言「未亡人は長生きします」とおしゃたんですね。だったら未亡人になればいいのではないかと考えた』そうです。



『ではどのようにして、未亡人になるかというと、ご主人に優しい奥さんであればよくて、お食事はご主人の要求通りどんどん召し上がってもらって、味も濃くする。スタミナを強くするために脂っこいものにしてしまう。その他にも、酒はたくさん吞ませて、自分の言いたいことだけ言って、ストレス攻めしてしまうことではないか』と恐ろしい発言を聞いたように思います。

ところが、この話の結論は『本当に未亡人になりなさいと言っているのではなく、お酒の量や食生活、睡眠時間とか生活習慣を見直し、長生きをしましょうと言いたいのです』という訳でした。

対談の最後に『だって、年にとって旅行するにしても、パートナーがいた方が楽しいもの。そんなことを話すために、まず「未亡人になる方法」を切り出すと、皆さんがドキッとして聴いてくれます』と明るく話していました。

勿論この対談は「未亡人は長生きします」だけでなく、高齢者ケアや住まい等の話題があつたのですが、実に明るく、爽やかな時間を過ごすことができました。

さすがに、人気者の女優さんの話には、説得力があるなあと感心しながら対談を終えたことを記憶しています。

理事長 高原敏夫

マザアスにおける職員育成の取り組みについて

介護業界における深刻な人材不足は既にお聞き及びの方も多いと思います。

そのような状況下でも、介護を志す人材はいます。数ある介護施設の中で、マザアスを選んでくれた職員が、入職した後も継続的に知識や技術の向上に取り組めるように、そしてその取り組みの成果としてご利用頂いている皆様の生活を豊かにできるよう、マザアスでは研修による職員育成の仕組みがあります。今回はその一旦をご紹介します。

下図は、マザアスにおける研修の仕組みを図説した物になります。左から右に向かって矢印が、入職してからの時間の経過を表しています。



一番下は、入職後の大まかな位置付けを表しています。入職後に新人となり、経験を重ねて中堅となります。その後は、主任や課長といった管理監督職員となるのが一般的かと思います。しかし、介護施設の特徴は、専門職がチームとなって、利用される方へサービスを提供する事にあります。マネジメントの道に進むよりも、自らの専門性を更に高めたい、と考える職員もいます。そのような職員については、管理職では無く、「高度専門職」(スペシャリスト)として力を発揮してもらうための道を用意しています。

中央にあるのは、全ての基本になる、法人としての「①基本理念・経営理念等」です。その土台の上に研修制度があります。

当年に入職した職員は、4月もしくは9月に行われる、法人全体の「②新入職員研修」に参加します。ここでは、法人理念や専門職であること以前の基本的な内容に関する研修を行います。その後、それぞれの配属先で、実際の職務に当たりながら、必要となる知識や技術等を修得する「③新入職員研修(配属先のOJT)」があります。一昨年から、新人職員に対する育成のシステムとして「④プリセプターシップ」を導入しました。こちらは、新人職員(プリセプティ)に対して、中堅の先輩職員(プリセプター)が担当者として選任され、業務内外で様々な支援を行う仕組みです。新人職員のみではなく、担当者となる先輩職員も教えることを通じて学ぶ機会がえられる仕組みです。

副主任以上の管理監督職員を対象として、法人全体の対象者が集まり、年に2回「⑤管理職研修」を実施しています。

東京都社会福祉協議会や、専門職団体が主催する⑥施設外部研修にも、希望する職員や、担当する職務内容から選任して積極的に参加をしています。外部の研修へ参加出来る職員は多くありませんので、施設に講師をお招きしたり、職員自身が話し手となったりする「⑦施設内部研修」を各事業所単位で行っています。こちらには、年に1回年度末に、各部署で取り組んだ実践を報告する、報告会もあります。

この外にも、他法人との交流研修や韓国、オーストラリアへの海外研修等もあります。

研修体系としての仕組みはありますが、まだまだ不十分な所が多々あります。重要なのは、利用者の方やご家族、地域の方々、職務に当たり日々接する多くの方が方々得られる貴重な学びを、いかに逃さずに自分のものとできるか、です。これからも改善を続けて参ります。

マザアス日野 副施設長 古谷晋



2012年に国際交流協定を結んで以来、職員の韓国訪問は毎年恒例になっています。今年も四人の職員が訪問して参りました。

一日目は利川老人福祉館（利川市が運営している老人クラブのような事業）、二日目はチャムサラン療養院（要介護者定員195名）、三日目はダサラン療養院（要介護者定員68名生活保護者定員49名）を見学しました。

見学以外にも、「平安の家」の事業内容を教えて頂く機会や、国民健康保険公団利川支社長を交えた福祉制度についてのカンファレンスの機会、最終日には意見交換の機会等がありました。それらを通し、韓国と日本の制度の違いや、現場レベルでは同じような事で悩んでいるという事などを学びました。

その中で、一番心に残った出来事は、ダサラン療養院に入所中の96才の女性との交流です。この方は日本語を流暢に話されていました。

日本に住んだ事がある訳ではなく、日本が韓国を植民地支配していた時代に日本の教育を受けたのだそうです。

「懐かしいですね。」「別れるのは名残り惜しいですね。」と何度も何度も仰っていました。本当に懐かしげな表情で。祖国ではなく、日本を「懐かしい」と話されるお年寄り、そしてそういった方々の面倒をみている韓国の若い世代の方々の気持ちを思った時、日本人にもこの方々に幸せに暮らして頂くための責任があると感じました。「平安の家」と「マザアス」が交流する事により、互いに学び合う事ができます。

高齢者福祉の面では、日本の方がまだ先進と言える面がありますので、韓国でまだ取り入れられていない我々の良い点を伝える事で、我々の責任が間接的に果たせるのではないかと、我々が韓国に訪問する意味はそこにあるのではないかと考えさせられた旅でした。

マザアス日野 介護支援課長 田内真理子

横溝幸雄 初代理事長を偲んで

理事長就任期間（1994年7月12日～1998年10月19日）

マザアス設立の初代理事長を務めてくださいました横溝幸雄先生は6月24日、84年の生涯を全うされ眠りにつかれました。

牧師として重責を数々荷負われましたが、カウンセリング手法を留学の経験から取り入れ、いち早く病める人の心と体の痛みの緩和に尽力されました。穏やかな笑顔で包み込んでくださったことが忘れられません。

6月28日 荻窪の天沼教会でお別れの会が開かれ、約250名の方々が先生とのお別れを惜しみました。

社会福祉法人マザアス理事

千先 勉



<横溝初代理事長>

平成26年度 法人の経営状況

1. 法人単位の資金収支の状況

項目	金額(千円)
(1) 事業活動資金収支差額	89,714
① 事業活動収入	2,158,887
・介護報酬等の公費(※)	13,972
・利用者負担金(※)	143,985
・その他収入	2,000,930
② 事業活動支出	2,069,173
・人件費支出	1,541,716
・事業費支出	295,645
・利用者負担軽減額	805
・その他支出	231,007
(2) 施設整備等資金収支差額	▲ 47,950
① 施設整備等収入	98,564
・施設整備補助金等の公費	98,564
・その他収入	0
② 施設整備等支出	146,514
(3) その他の活動資金収支差額	7,839
① その他の活動収入	70,751
② その他の活動支出	62,912
当期末資金収支差額	49,602
前期末支払資金残高	606,354
当期末支払資金残高	655,957

(※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3. 法人単位の資産等の状況

項目	金額(千円)
(1) 資産の部	5,670,573
① 流動資産	751,044
② 固定資産	4,919,529
(2) 負債の部	5,670,573
① 流動負債	148,538
② 固定負債	841,353
(3) 純資産の部	4,680,681
減価償却累計額	3,300,476

(※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2. 法人単位の事業活動の状況

項目	金額(千円)
(1) サービス活動増減差額	44,373
① サービス活動収益	2,127,027
② サービス活動費用	2,082,653
減価償却費	170,749
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 135,844
その他サービス活動費用	
(2) サービス活動外増減差額	7,663
① サービス活動外収益	31,861
② サービス活動外費用	24,197
(3) 特別増減差額	▲ 5,425
① 特別収益	145,629
② 特別費用	151,054
当期活動増減差額	46,612
前期繰越活動増減差額	517,498
当期末繰越活動増減差額	564,110
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	15,800
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	579,910

(※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

4. 積立金の状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	本年度末時点の積立金額(千円)
その他の積立金	その他の積立金	50,010

5. 関連当事者との取引の内容(該当無し)

* 法人ホームページに財務三表の掲載がありあます

ネパール地震 被災者への義援金贈呈

2015年4月25日に発生したネパール大震災に対し、亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災された方に心からお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

社会福祉法人マザアスでは、今回の地震で被災した職員のために、義援金を募りました。お寄せいただいた義援金は、被災した職員へ全額贈呈いたしました。ご支援いただいた皆様に感謝します。